

第 23 回全国障害者スポーツ大会 フットソフトボール競技 北海道・東北ブロック予選 実施要領

1. 競技規則

令和 6 年度全国障害者スポーツ大会競技規則によるもののほか、この要領に定めるところによる。

2. チーム編成

- (1) チーム構成は、監督 1 名、コーチ 2 名以内、選手 15 名以内とし、男女を問わない。
- (2) 監督及びコーチが選手を兼ねる場合は、事前に提出する選手名簿への登録を必須とする。なお、選手の数には選手を兼ねる監督及びコーチを含めて 15 名以内とする。

3. 競技方法

- (1) DP（打撃のみ行う選手）制とリエントリー制（再出場）を採用する。
- (2) 対戦は原則トーナメント方式を採用し、3 位決定戦は実施しない。ただし、出場チームが 3 チームの場合はリーグ戦を実施し、順位は勝利数（同数の場合は総得失点差、総得点、当該チーム同士の勝敗）により決定する。
- (3) 試合は 7 回または試合開始後 60 分を経過した以降は、新しいイニングに入らない。
- (4) 同点の場合は、タイブレーク（無死、走者二塁を設定して再開する。この場の二塁走者は、前回の最後の打席に入った選手）で試合を延長する。タイブレークは 2 回までとし、それでも同点の場合は、最終メンバー 9 名（DP 制を導入の場合は FP 選手を除く）の抽選により勝敗を決する。
- (5) 3 回終了以降に 20 点以上の差が生じたときは、得点差によるコールドゲームとする。また、降雨等のほか、やむを得ない事情により試合の継続が不可能と判断された場合は、3 回以上の回の終了をもってコールドゲームとする。

4. 競技時の用具・服装

- (1) 試合球はサッカーボール（ゴム製 4 号球）とし、主催者が準備する。
- (2) ボールの空気圧は 0.4~0.45 気圧、重さ 340g 以上 380g 以下とする。また、外周は 64 cm 以上 67 cm 以下とする。
- (3) 靴は運動靴又は金属製以外のスパイクとする。
- (4) 同一チームの監督・コーチ・プレイヤーは、同色・同意匠のユニフォームを着用しなければならない。また、男子は帽子を着用しなければならない。ただし、プレイヤーがショートパンツを着用するチームの監督・コーチについては、上衣は同色・同意匠でなければならないが、下衣については、監督・コーチのみで統一された別のものを着用してもかまわない。男子は帽子を着用しなければもかまわない。男子は帽子を着用しなければならない。
- (5) ユニフォームナンバーは、背中と胸下につける。監督は 30、コーチは 31・32、主将は 10、他のプレイヤーは 1 から 99 までの番号とする。
- (6) 危険防止のための手袋を着用してもよい。ただし、投手が使用する手袋はボール以外の色でなければならない。危険防止のため、プレイヤーは試合中に腕時計・ブレスレット・ネックレス・イヤリング・指輪などを身に付けてはならない。

5. 組み合わせ

組み合わせは、令和 6 年 5 月末日までに主催者が代理抽選のうえ決定し、各チーム宛に通知する。なお、トーナメント方式を採用する場合は、前年度優勝チームを第 1 シードとする。

6. 打順表

打順表は試合開始時刻 20 分前までに 3 部作成し、大会本部に提出する。なお、打順表は監督会議の場において、大会本部から配布する。

7. ベンチ

- (1) ベンチは、組合せ番号の若いチームを一塁側とする。
- (2) ベンチ内へは監督、コーチ、選手及び主催者に許可された者以外は入場することができない。

8. その他

- (1) 第 1 試合開始時刻 60 分前に監督会議を開催し、この要領に定めるもののほか、申し合わせ事項を設けることができる。
- (2) 火災・地震等の災害発生時は、まず自身の身を守ることを第一とし、その後会場スタッフの指示、避難誘導に従うこと。